



平成 25 年 3 月 1 日 発行

ながらの福祉

長等学区社会福祉協議会 発行人 金井長純



24年度中に社会福祉協議会が実施した事業内容を報告
来る25年度も社協事業運営につき、ご理解とご協力を
よろしくお願ひします。



報告

▼二十四年度
社協総会無事終了
五月十二日長等市民センタ
ー大会議室にて
各町自治会長・学区各種
団体長ならびに各学校校長
およびPTA会長等を来賓に迎
え、総計一〇四名の出席者
を得て
二十三年度事業報告
二十三年度一般・特別会計

▼社協役員・福祉委員と
の交流会開催
六月九日旅亭紅葉にて、
二十四年度各町自治会役員
として就任された六十名の
福祉委員と社協常任理事と
の交流を兼ね福祉委員全体
会議を開催した。
① 各委員に学区社協会長
名による委嘱状の交付

二十四年度事業計画
二十四年度一般・特別会計
收支予算
が満場一致で承認可決され
終始盛会裡に開幕した。
二十四年度新役員として
会長 金井長純
副会長 馬場照直
副会長 藤本耕作
副会長 吉川浩次
副会長 園勝彦
が選任されました。

② 「地域での助け合い」の事
例紹介を市社協副参事
山口浩次氏による講演
③ 社協事業の概要説明なら
びに事業に対する協力・参加
要請等を説明し、福祉委員
としての認識を新たに理解し
て頂いた。
福祉委員の皆さん、ご苦勞
様でした。





▼ラジオ体操の実施

七月二十一日～八月九日

長等小グラウンドにて

本年度も社協が主管して、体連、PTA、学区民の協力を得て、従来どおり夏休みの内七月二十一日から八月九日の間、長等小グラウンドに於いて、期間中好天に恵まれ、

事故もなく無事終了しました。

終了日に参加者全員に終了証と記念品(飴玉)を配布、特に終了証の交付は、相変わらず子ども達に大変喜ばれた。引き続き来年度以降も発行したい。

期間中の参加者は四百名でした。

ご協力頂いた団体役員の方皆さん有り難うございました。



▼敬老月間慰問品



祝い品の贈呈

高齢者慰問

- ① 八十才(傘寿)九〇名
九十才(卒寿)三六名
九十九才(白寿)二名
一〇一才以上 八名
計 一三六名
- ② 寝たきり・認知症の方
贈呈品 五〇名
UCCギフトカード
- ③ 愛の便り 一、一一〇人

賀寿祝

- 八十八才 四七名
- 九十才 三六名
- 九十九才 二名
- 百才 三名
- 百一才以上 九名
- 贈呈品 お菓子(ゴーフル)

▼長等の里「秋祭り」支援

特養施設「長等の里」では、本年度も「秋祭り」として九月二十八日の昼の時間帯に開催され、当社協も例年どおり奉仕に参加した。

奉仕提供品として、従来からの「かき氷」に「アンコロ」を入れ参加者の皆さんに無料配布し、食して頂いた。氷の冷たさとアンコロの甘味がマッチし、施設入居者の皆さんから大変好評を頂いた。



▼ふれあい会食会の開催

十一月十四日

長等市民センター

大会議室にて



恒例による独居高齢者で七十歳以上を対象とした、「ふれあい会食会」を七三名（他に世話人十二名）の参加を得て、会長の挨拶に続き、懐かしい歌全集および長等小学校三年生百十五名による可愛い歌声で賑やかに開会。

引き続き、健康推進協議会、民生委員女性部、日赤奉仕団、のぞみ会、ボランティア等の皆さん方の二日ばかりで作っていただいたお弁当に「美味しいわ」「美味しいわ」と舌づつみを打ちながら、世間話をしながら、穏やかな昼食会となりました。



その後、アトラクションとして、滋賀里病院院長栗本藤基先生の「一人くらしでも、

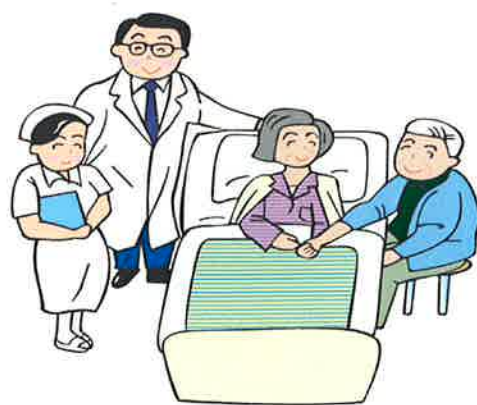
いきいきと高齢期を過ごしましよう」のテーマによりご講演を頂き、少しでも長生きに希望をお持ち頂いた事と思えます。

本会食会に参加資格の在る方は万障繰り合わせの上、来年度は参加頂きます様、お待ちしております。

▼歳末助け愛募金

一二月三日配分委員会

「共に生き、共に暮らす地域社会づくりを目指して、多くの人々が幸せな生活が出来るように」と各自治会長様のご協力により、学区民皆様方の貴重な浄財を頂き、配分委員会の結果に従い民生委員さんを通じ、お見舞い対象ご家庭へお届けしました。ご協力有り難うございました。



募金総額

四〇五、六六〇円

配布金

(一人当たり五、〇〇〇円)

- 低所得者 三名
 - 一人暮らし 六名
 - 在宅寝たきり 九名
 - 入院療養 四名
 - 障害者 一名
 - 母子家庭 二名
 - 施設納入五六、〇八五円
- ご協力有り難うございました。

▼いのちのバトン配布

一〇月一五日



高齢者や障害者などの安全・安心のため、一人暮らしのお年寄りや家庭と一緒に暮らしていても昼間は一人で過ごしておられる方、障害者などが、急病になったときに、救急隊員や駆けつけた方に持病やかかりつけの病院など情報をより早く、確実に知らせるために、必要な情報を記入し、自宅の冷蔵庫に常備するためのケースを七五歳

以上の独居世帯(四二三本)ならびに七五歳以上の高齢世帯(六三五本)に配布いたしました。

今後、六十五歳以上の世帯に配布を考えています。

▼福祉のつどい開催

介護教室の開催

三月五日

長等市民センター

大会議室にて



本年度は、長等公民館と

共催で実施。



成人になれば誰もがなるかもしれない認知症、本人はもとより、それを支える家族にも大きな影響を与えます。早めの知識や相談は転ばぬ先の杖として、「認知症を理解し、また介護する人の気持ちをも理解」するをテーマとして判り易くご講演を頂いた。

第一部、

「認知症を理解する・介護をする人の気持ちを理解

する」

講師 認知症の人と

家族の会 服部節子氏

中地域包括支援センター

中原一隆氏

第二部、ミニミニコンサート

講師シンガーソングライター

関島秀樹氏

講師は、自然や故郷の偉大さ、家族や心のふれあいの大切さなどメッセージを歌に込め全国的に活躍中のライターです。

